

一般社団法人福岡市医師会
定例記者会見

令和3年10月6日(水)13時30分

「妊婦さんへの新型コロナウイルス感染対策について」

福岡市医師会 常任理事 佐野 正敏

一般社団法人 **福岡市医師会**



「福岡市内の妊婦さんのCOVID-19感染状況」

福岡市の人口：162万0758人（2021年9月1日推計）

- ◆ 2020年2月01日～2021年10月03日までの感染者：34,202人
（感染率2.10%） 死者：218人（市人口に対する死亡率0.013%、
感染者に対する死亡率0.64%） 入院等感染者数：719人
- ◆ 2021年8月01日～2021年10月03日までの感染者：15,264人
（感染率0.95%）

福岡市内の妊婦さん

（母子健康手帳の発行を受けた人数からの推計値）

- ◆ 2021年8月01日～2021年10月03日までに
市内にいる推計妊婦数：約9,900人
- ◆ 2021年8月01日～2021年10月03日までの
福岡市内のCOVID-19感染妊婦数：72人（感染率0.73%）



「福岡市の妊婦さんがCOVID-19に感染した場合の対応」

COVID-19感染妊婦さんの妊娠週数と重症度で 受入医療機関が準備されています

妊娠週数・早産のリスク・COVID-19の重症度により、周産期救急対応能力 及び感染症対応能力を加味して分娩に対応する主な4施設を準備

産婦人科はあるが分娩には対応できない施設では「感染症内科」に入院して診察する協力施設を準備

COVID-19感染妊婦を直接受け入れていない周産期母子医療センターは**非感染者の周産期救急対応のカバー**にまわっており、従来の周産期緊急体制を維持

- ◆福岡市では「**通常の周産期ネットワークとかかりつけ産科医療機関**」との情報交換を基にした病床調整を「**担当病院の産婦人科専門医**」が担っています。現在はこの仕組みが順調に機能しているため、少なくとも現時点までは**医療を要する妊産婦さんの受け入れができなかったことはありません。**
- ◆**自宅療養や宿泊療養となった場合でも急変した場合でも、上記仕組みにより常時受け入れる準備ができています。**



「国内でのCOVID-19感染妊婦さんの現状」

* 福岡市では、COVID-19感染妊婦さんの現状解析がまだ報告されていませんので、下記の参考資料の報告（登録者180人の統計）の一部をお示しします。

- 妊娠さんの感染状況：COVID-19の感染ピークに一致して増加する。
- 重症度等：重症者数(3人：1.7%)、中等症II(25人：14%)、
中等症I(19人：11%)、軽症(133人：74%)、無症状(17人：9.4%)
- 妊婦は年齢に関係なく妊娠全期間を通して新型コロナウイルスに感染しうるが、31歳以上、25週以降、診断時のBMI 26.3以上は重症化のリスクであった。
- 中等症II・重症例では早産が増加した（早産にはCOVID-19増悪を適応とした医学的介入による帝王切開分娩を含む）。一方、産科合併症の有無は重症化と関連しなかった。
- 新生児感染は報告されず。死産、新生児死亡も認めず。

参考資料：国内でのCOVID-19妊婦の現状～妊婦レジストリの解析結果(2021年9月15日付中間報告 山田秀人ら)



「福岡市での「妊婦さんへの新型コロナワクチン接種事業の推進事業」

各県におけるCOVID-19感染妊婦さんの流早産の報告を踏まえ、福岡市では、妊婦さんおよびそのご家族の方には優先的にコロナワクチン接種を行っています。下記コールセンターに予約をする場合は、

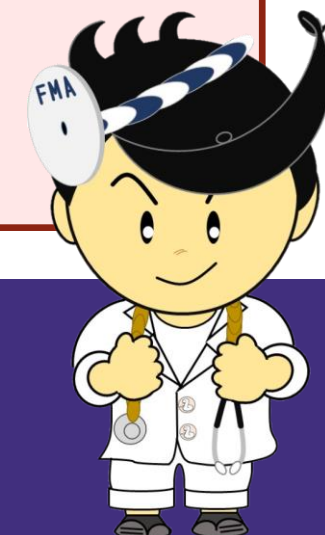
「妊娠しています」、「妻が妊娠中です」、
「家族が妊娠しています」。
と明確に伝えてください。

できるだけ早期にワクチン接種ができるように予約を取っています。

福岡市新型コロナワクチン接種コールセンター

092-260-8405 (8:30~17:30)

妊婦本人のほか同居されているご家族も対象です



一般社団法人 **福岡市医師会**